



近年、住宅設計の多様化により、全長の長いねじの需要が増加しています。

ただし、全長が長くなるほど、締結時に強い負荷がかかり、頭飛び、ねじ曲がりなど、締込能力の低下が懸念されます。このたび、金属の特性を生かし、問題を解決したねじの提供が可能となりました。

お困りの際は、是非、当社にご連絡ください。



1. ねじ山

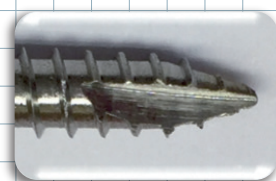
ねじの胴部にローレット加工を施すことにより、転造硬化が期待でき（個体に瞬時に圧力をかけることにより素材が発熱、硬化する為）頭飛びやねじ曲がりを防止します。



2. 足割

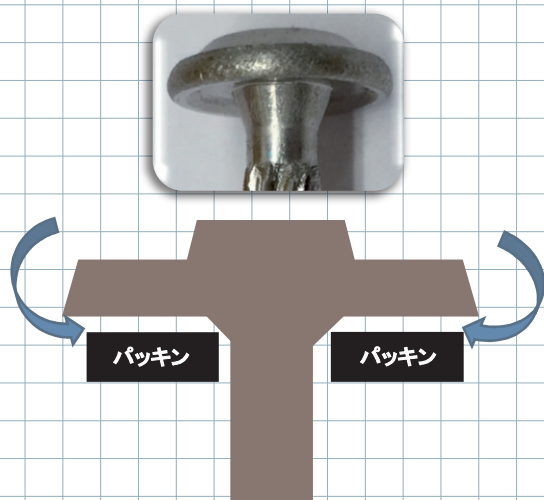
ねじ先端に足割加工を施すことにより、食い付きが良くなり、作業性が向上します。

最大115ミリまでの長いねじに足割加工を施すことができます。

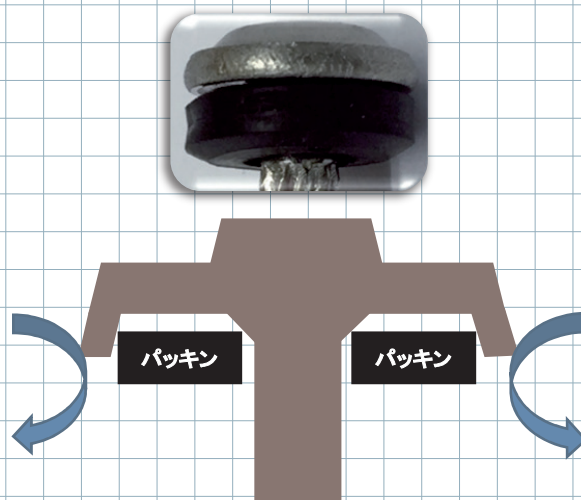


3. アンダーカット

首下にアンダーカットを施すことにより、止水パッキンとねじが密着し、水漏れを防止します。



首下にアンダーカットが無い為、頭裏から水が浸入してしまう。



首下にアンダーカットを施すことにより、頭裏からの水の浸入を防止。